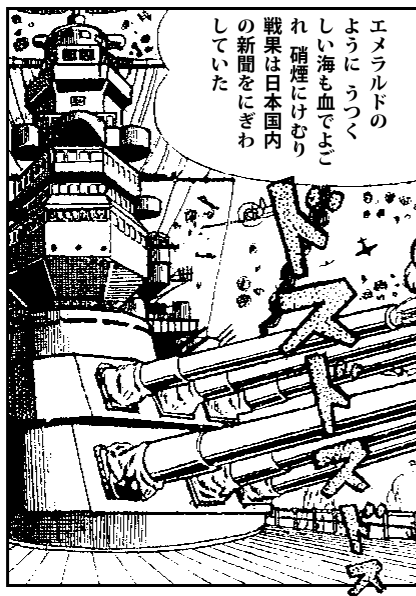
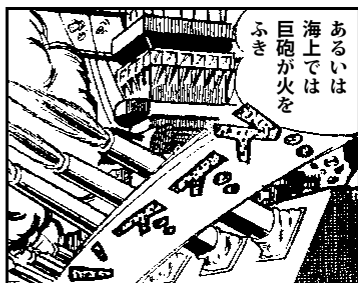


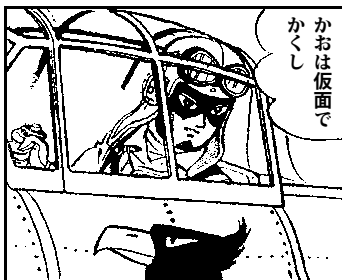
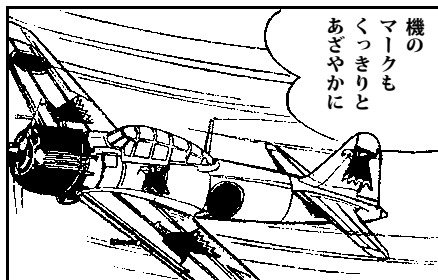
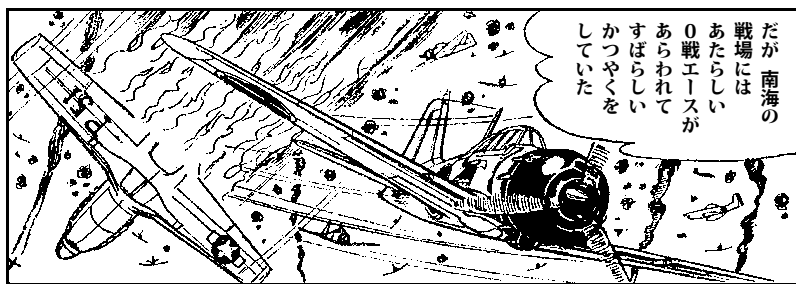
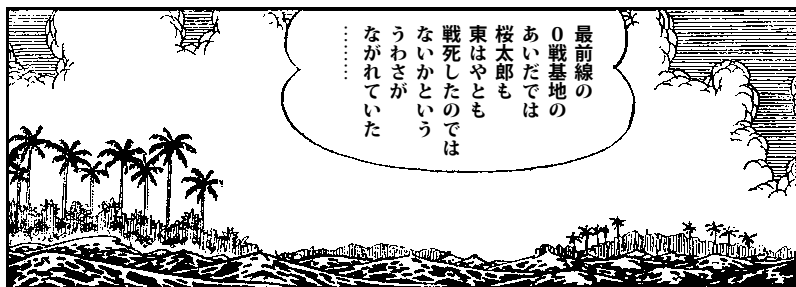
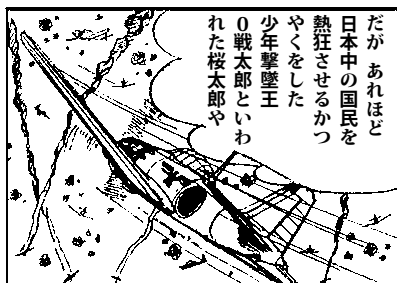
昭和17年……
日本の陸海空軍の
攻撃はんいは
南太平洋のほとん
どというおそる
べきひろさに
わたっていた……
南海の空高く
まい日のように
はげしい空戦の
火花がちり……

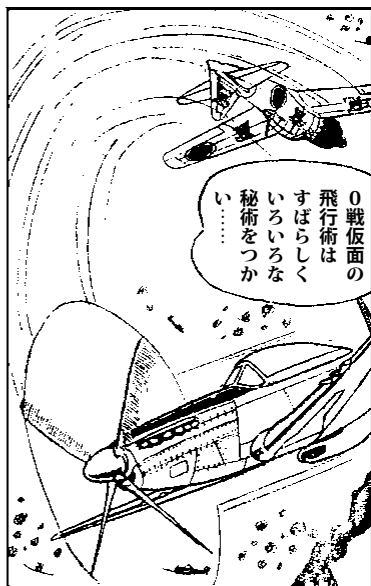
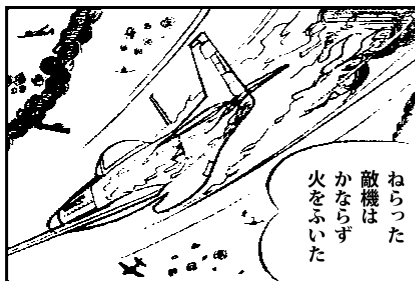
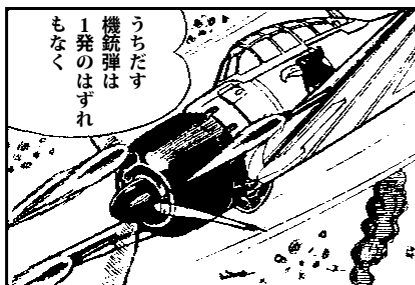
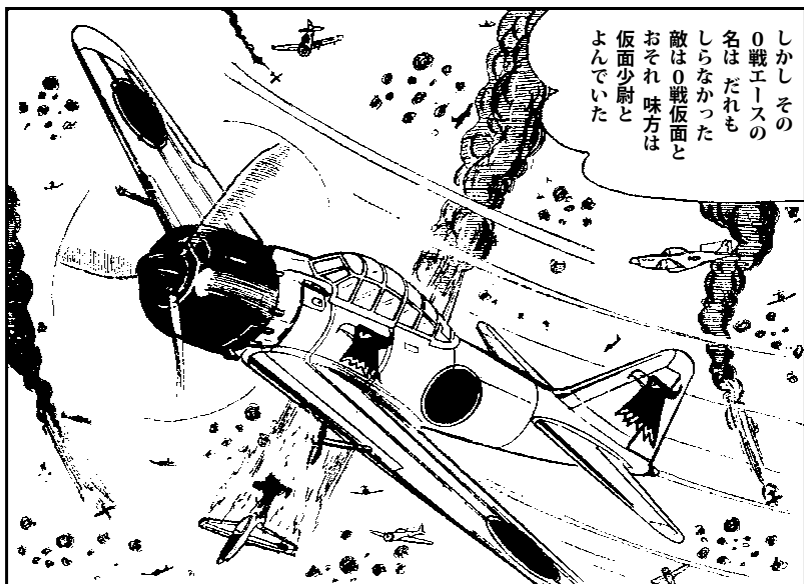


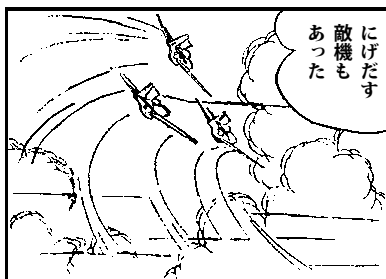
エメラルドの
ようにうつく
しい海も血でよご
れ 硝煙にけむり
戦果は日本国内
の新聞をにぎわ
していた



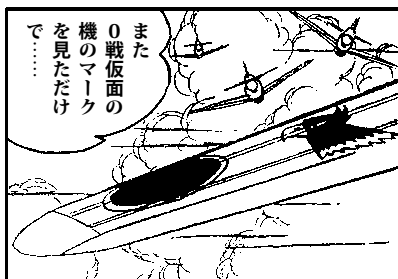
あるいは
海上では
巨砲が火を
ふき







にげだす
敵機も
あつた



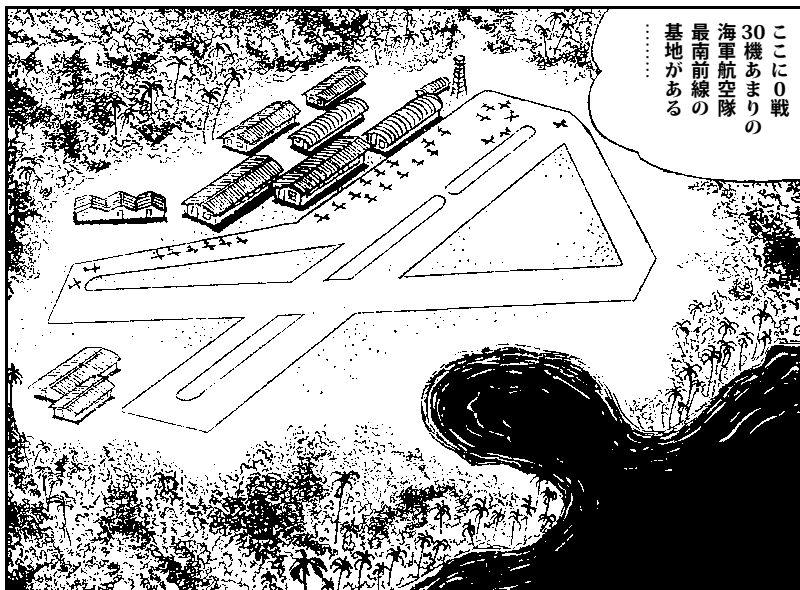
また
0戦仮面の
機のマーク
を見ただけ
で……



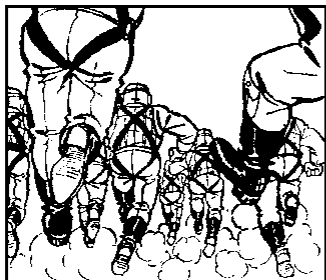
四国のはんぶん
ぐらいの小さな
島があつた
島の名は
スネア島



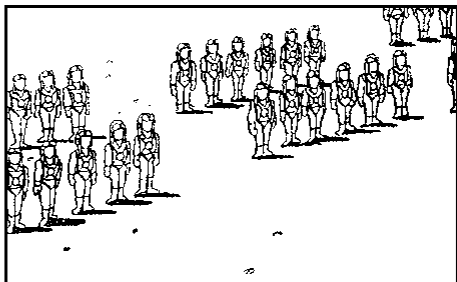
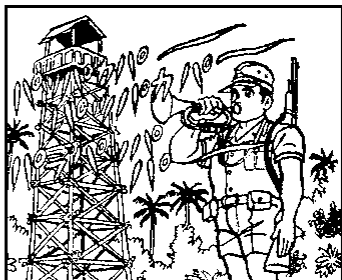
ここボルネオや
セレベスの南に
……

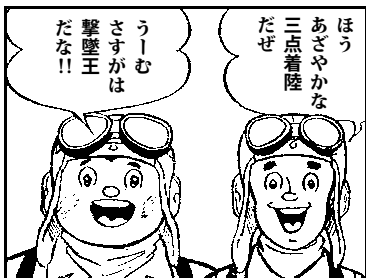
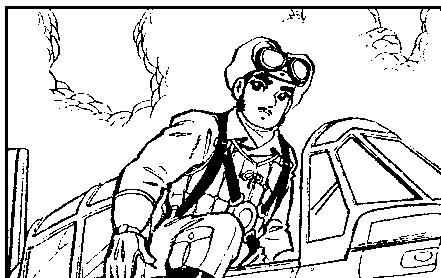
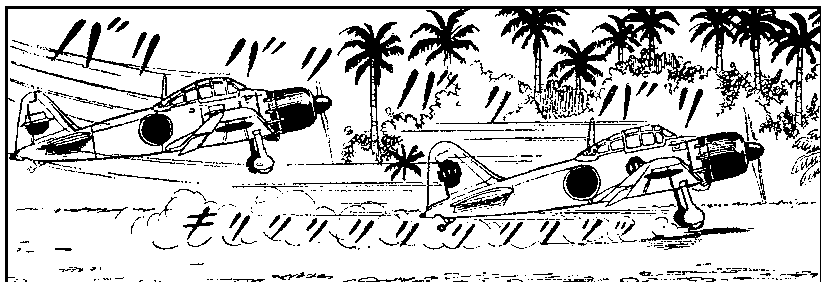
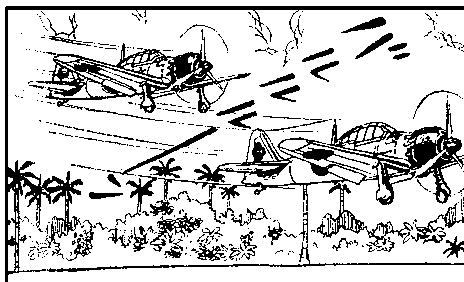


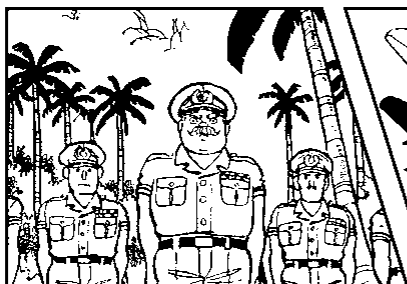
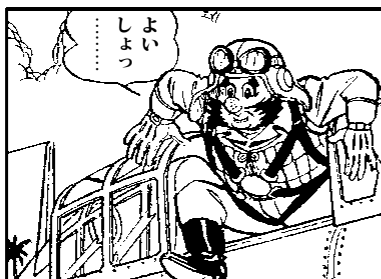
ここに0戦
30機あまりの
海軍航空隊
最南前線の
基地がある
……

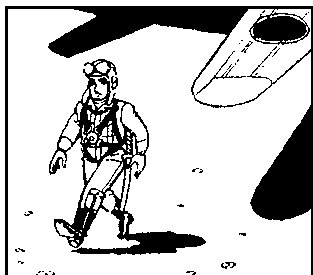
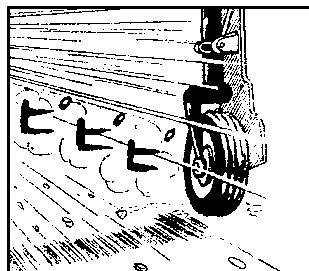
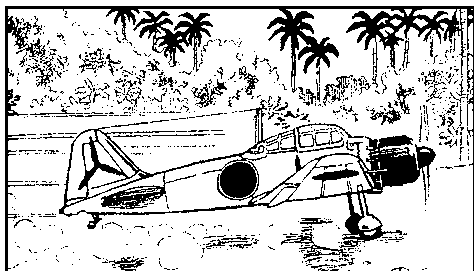
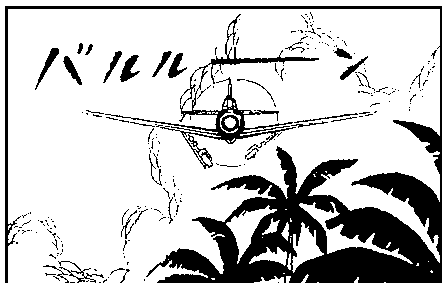


搭乗員全員
滑走路わきに
せいれつ!!

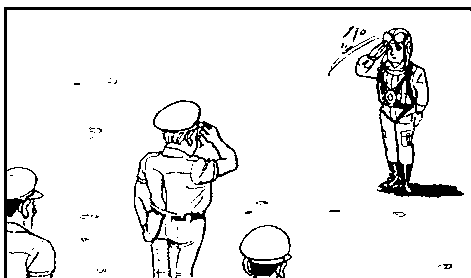






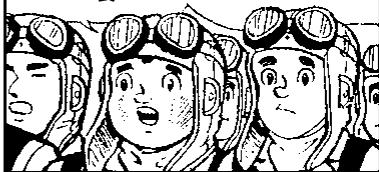


スクスク基地
いなくま隊
花岡中尉



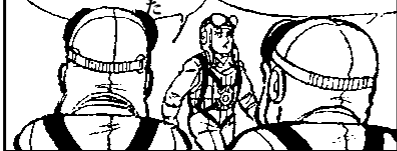
すごいのが
きたぜ
はじめに
ついたのが
宮本大尉
東はやとの
上官だった
人だ

石川兵曹長
は 爆撃機
おとしの
名人だぜ

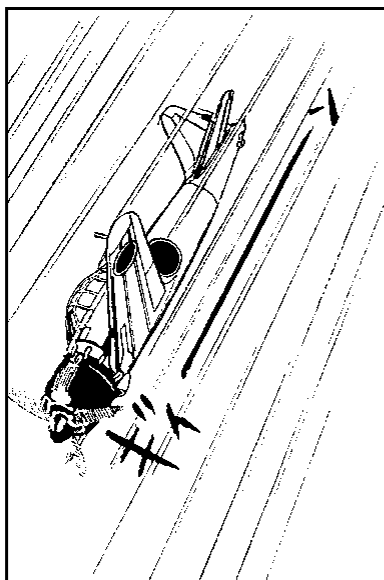
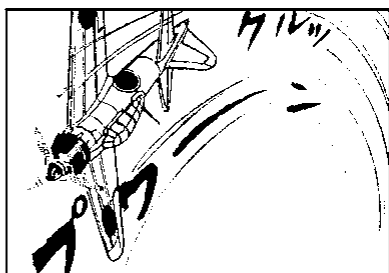
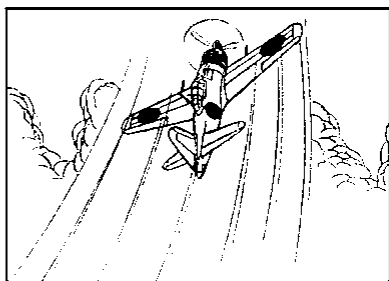
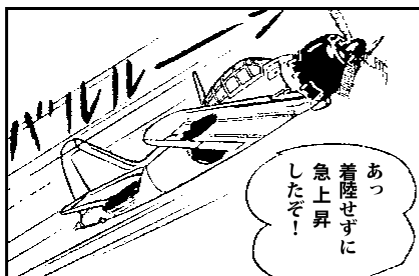


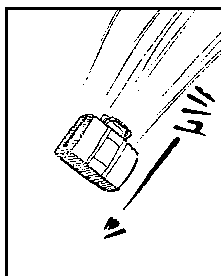
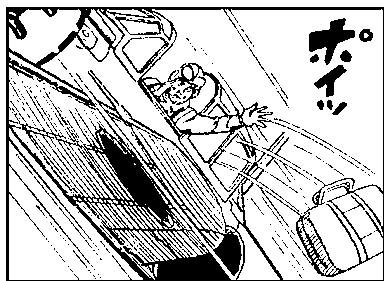
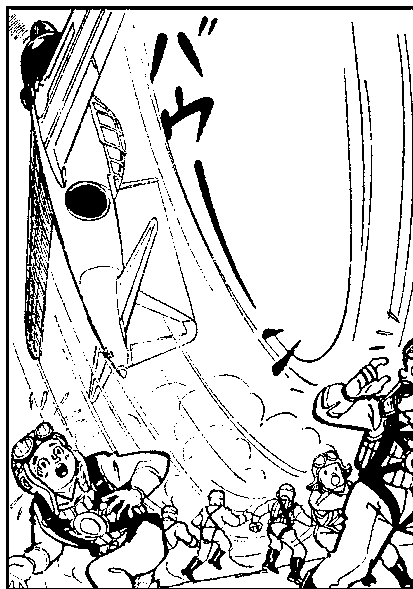
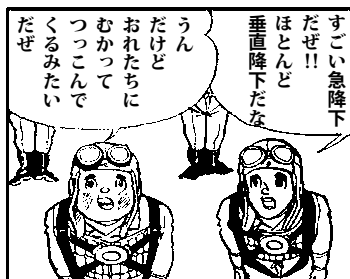
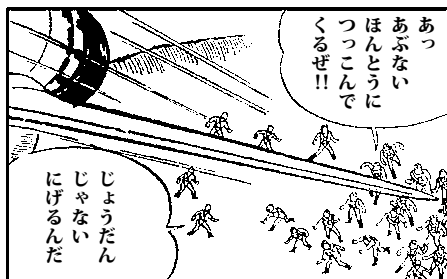
そのつぎに
着陸した
花岡中尉は
0戦太郎
つまり桜太郎
の上官だった
のだ

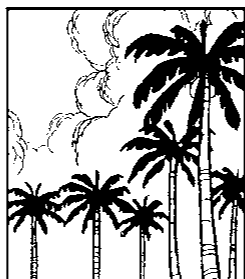
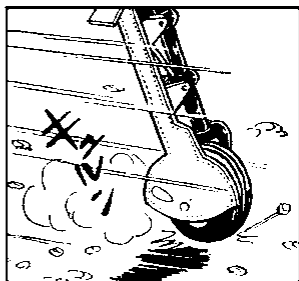
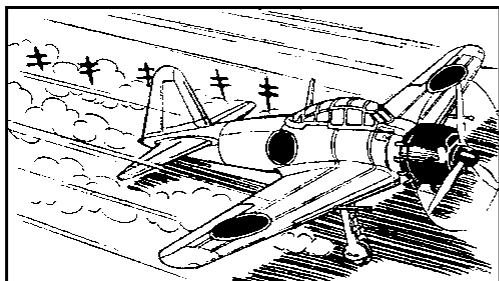
はやとも
太郎も戦死した
らしいけど
おいしい人を
なくした
ものだ……

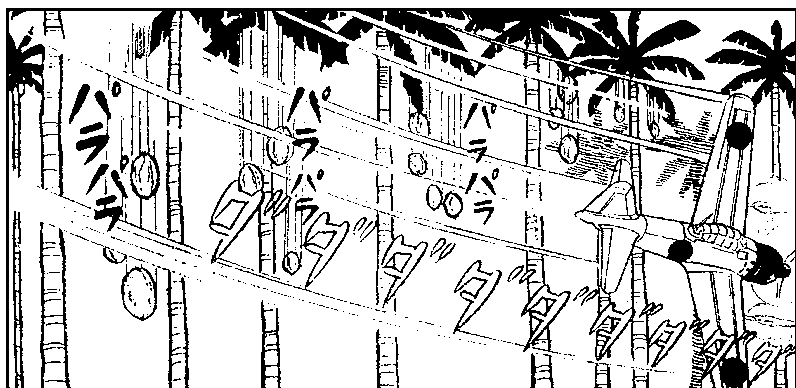
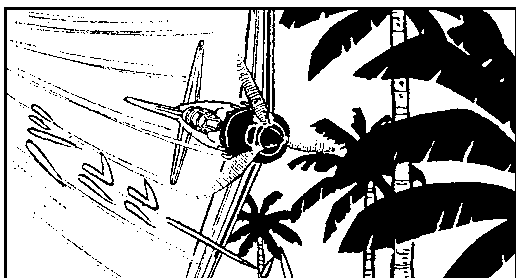
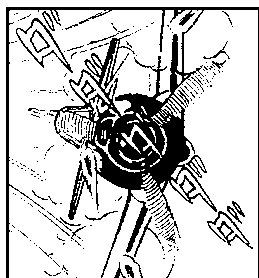
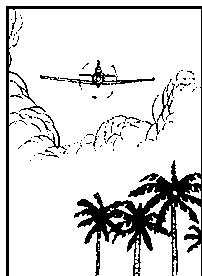
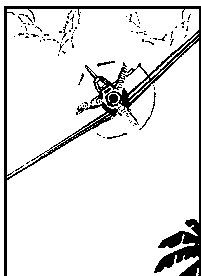
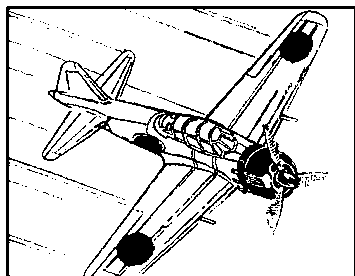


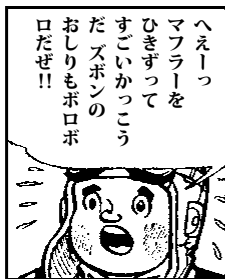
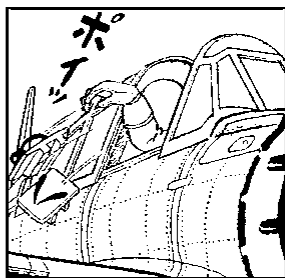
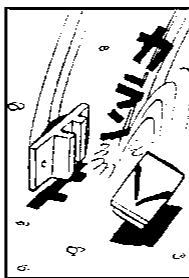
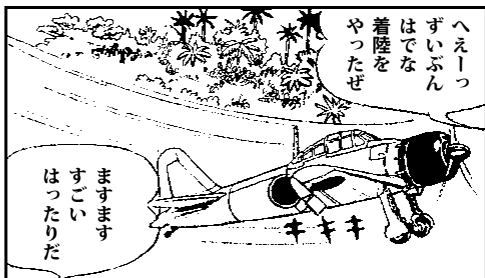
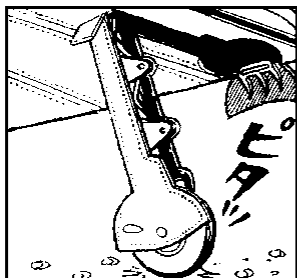
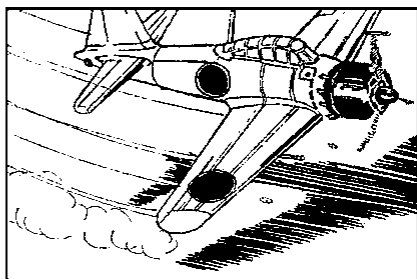
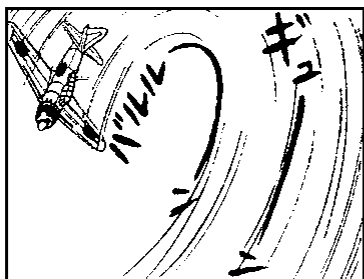
あっ
着陸せずに
急上昇
したぞ!

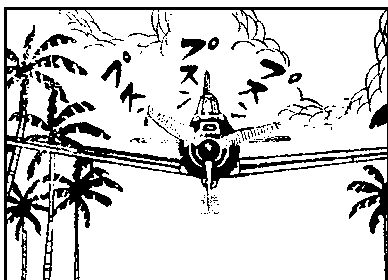
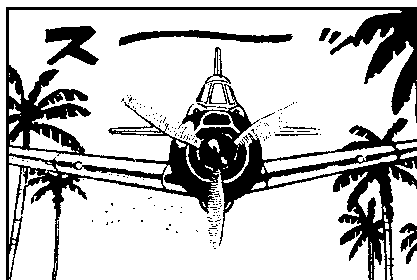
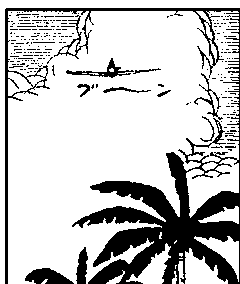
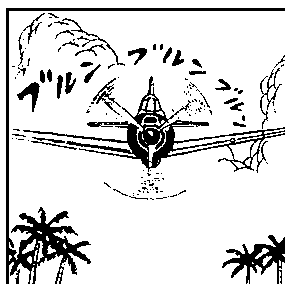
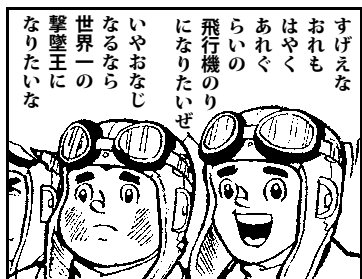


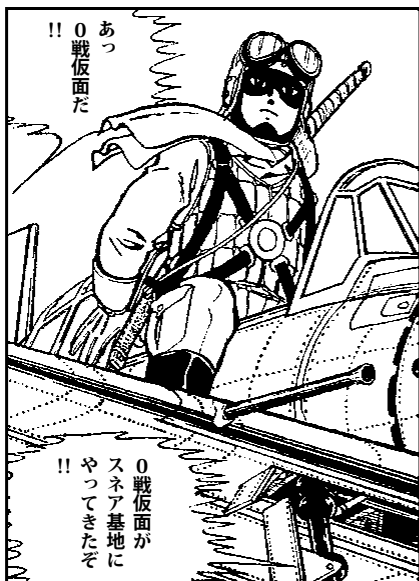
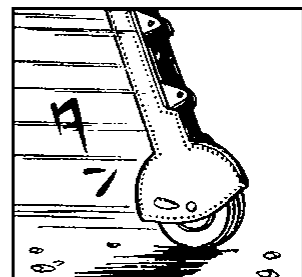
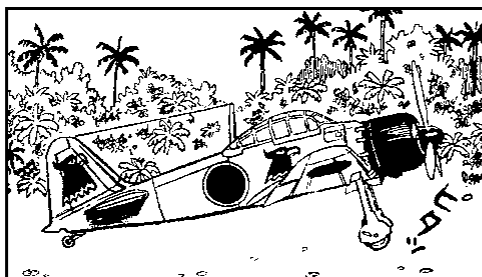
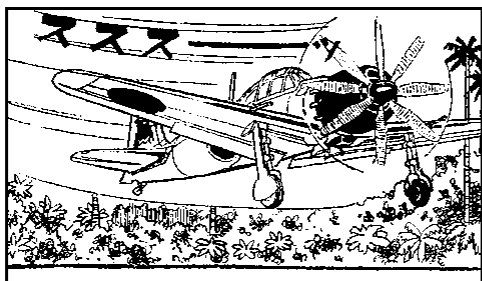


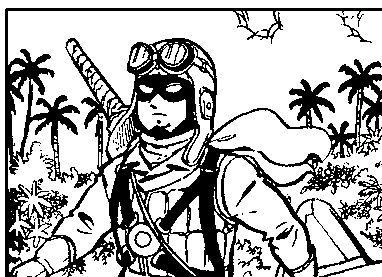
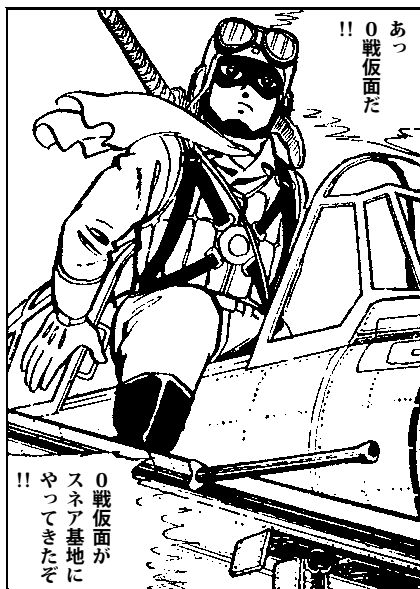
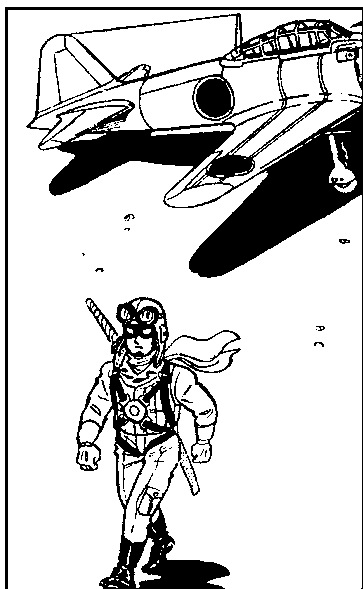
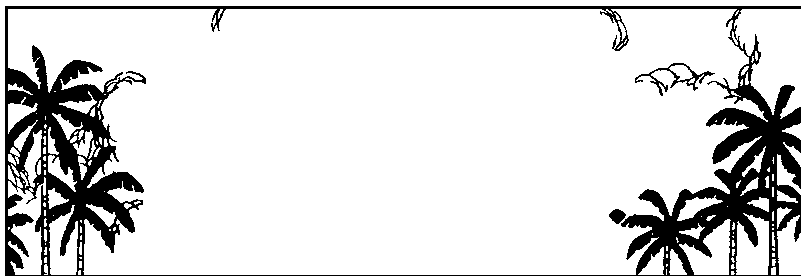




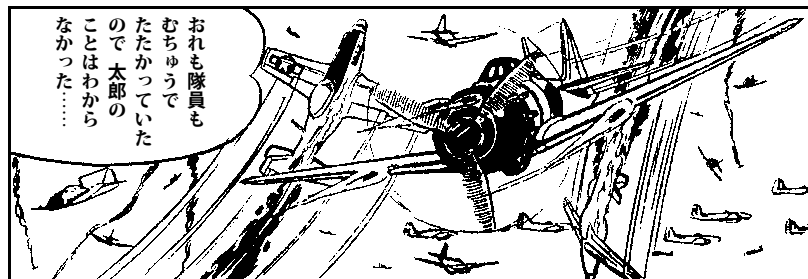
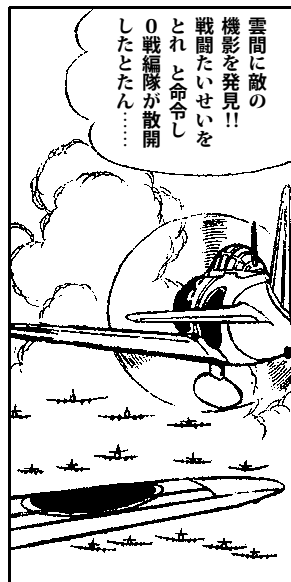
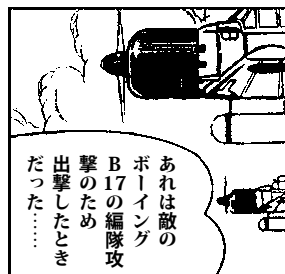


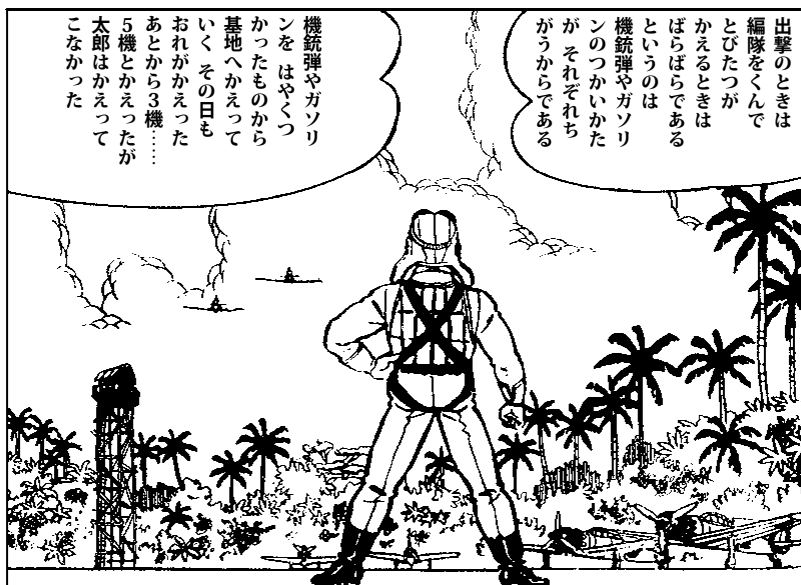
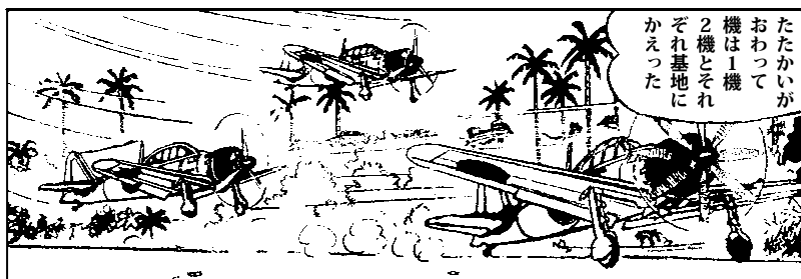












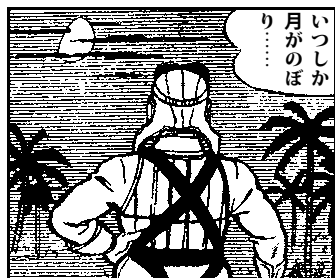


おれは
まっていた
いつまでも
いつまでも
燃料のき
れる時間は
とつくに
すぎている

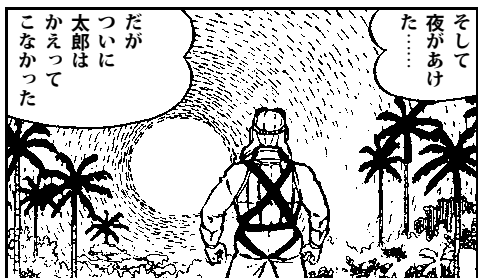


だがおれは
太郎がおと
されたとは
かんがえた
くなかった
燃料が
なくなつて
どこかちか
くの基地へ
よりいすれ
かえつてく
るとおもつて
いた

いや
そういつ
ていたのだ



いつしか
月のぼ
り……



そして
夜が明け
た……

だが
ついに
太郎は
かえつて
こなかった



太郎は
やはり戦死
したのだ
これだけ
まっても
かえつて
こない太郎の
戦死を
信じない
わけには
いかなかった



太郎をなく
したことは
わがイナズマ
隊……いや
海軍航空隊に
とつても
大きなそんが
いだつた



もうすばらしい
太郎の空戦のわざや
あのあかるい太郎の
えがおが見られない
かとおもうと
なみだがながれおち
るのだった……